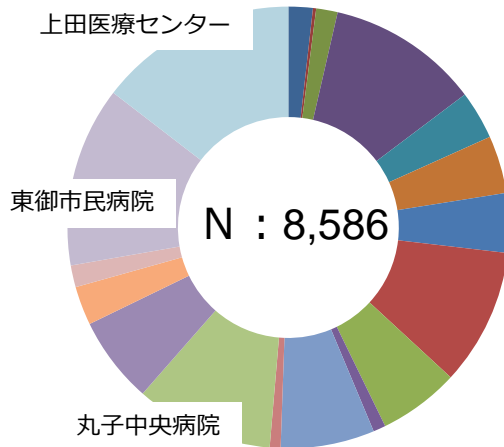


平成29年度病床機能報告等の状況について

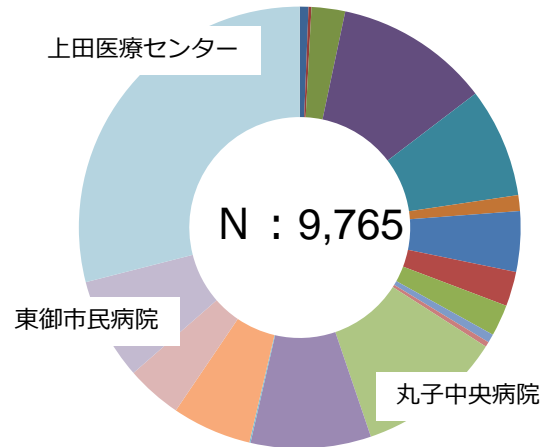
救急医療の実施状況

- 救急医療の提供は、信州上田医療センター、丸子中央病院及び東御市民病院を中心に提供体制を構築
- 休日、夜間・時間外のうち、入院が必要な患者に対しては、上田医療センターの役割が大きくなっている。

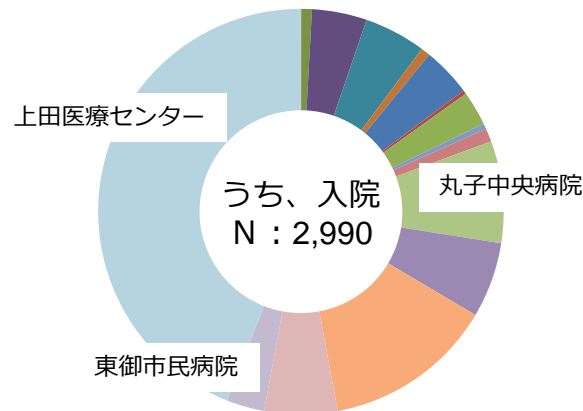
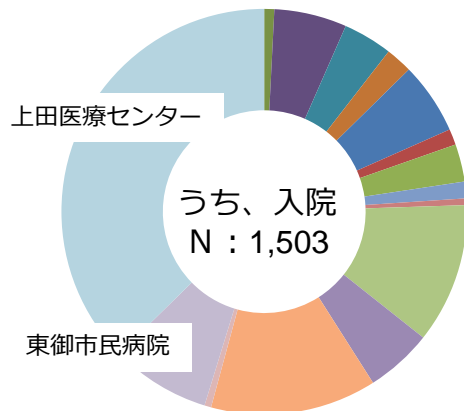
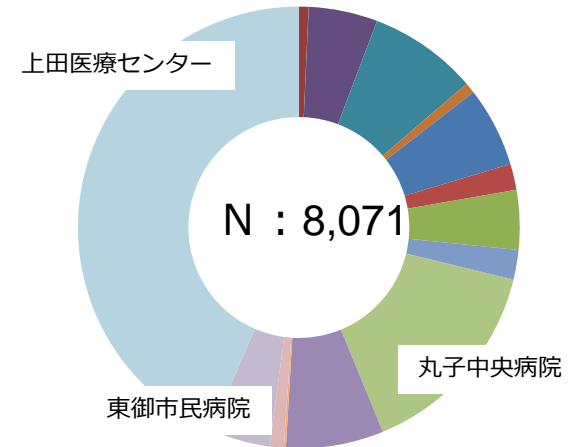
【休日受診】



【夜間・時間外】

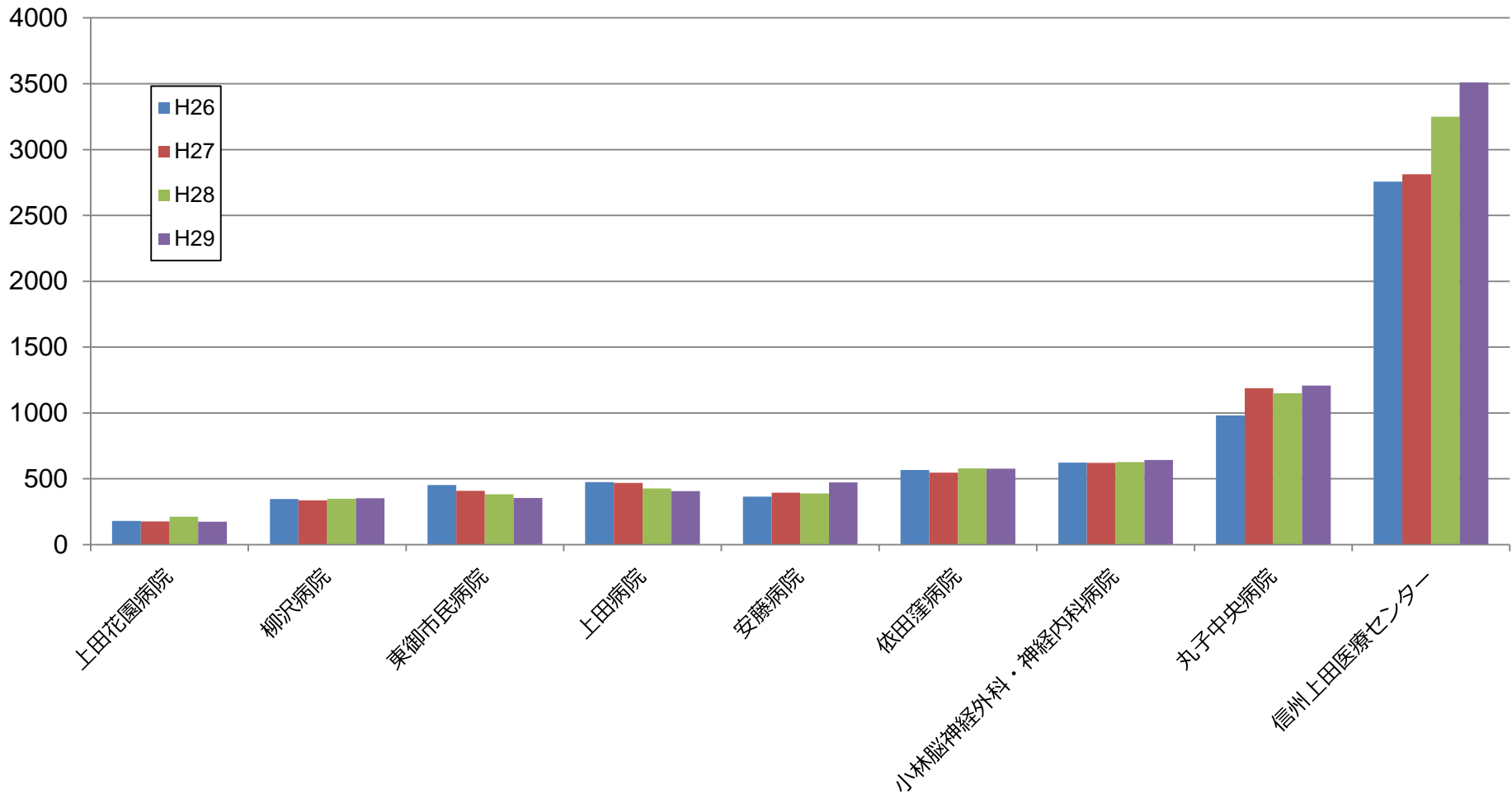


【救急車受入】



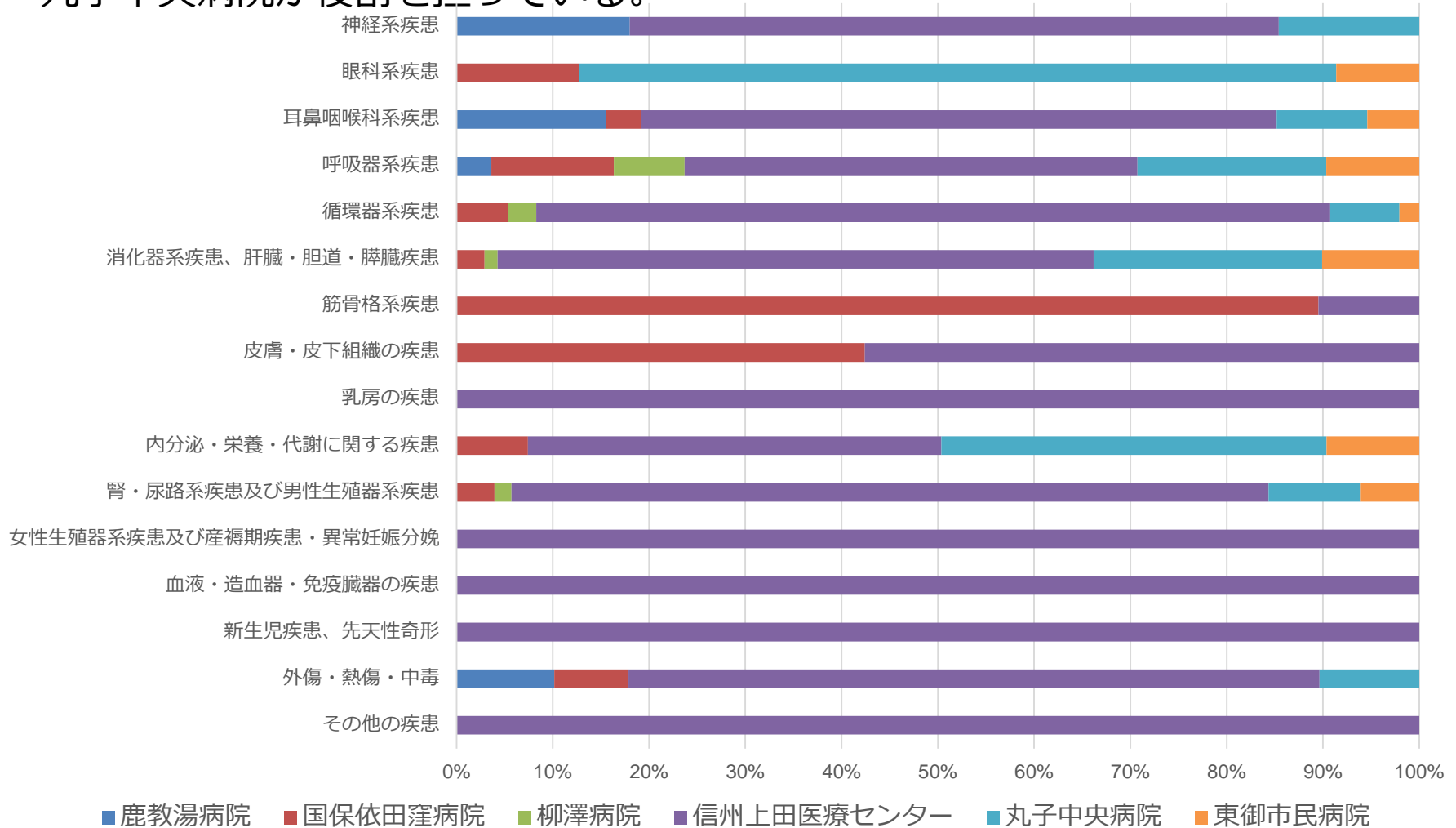
救急医療の実施状況

- 救急医療の提供のうち、年間の救急者受入件数の推移をみると信州上田医療センターでの対応件数が大きく増加するほか、丸子中央病院においても増加傾向となっている。



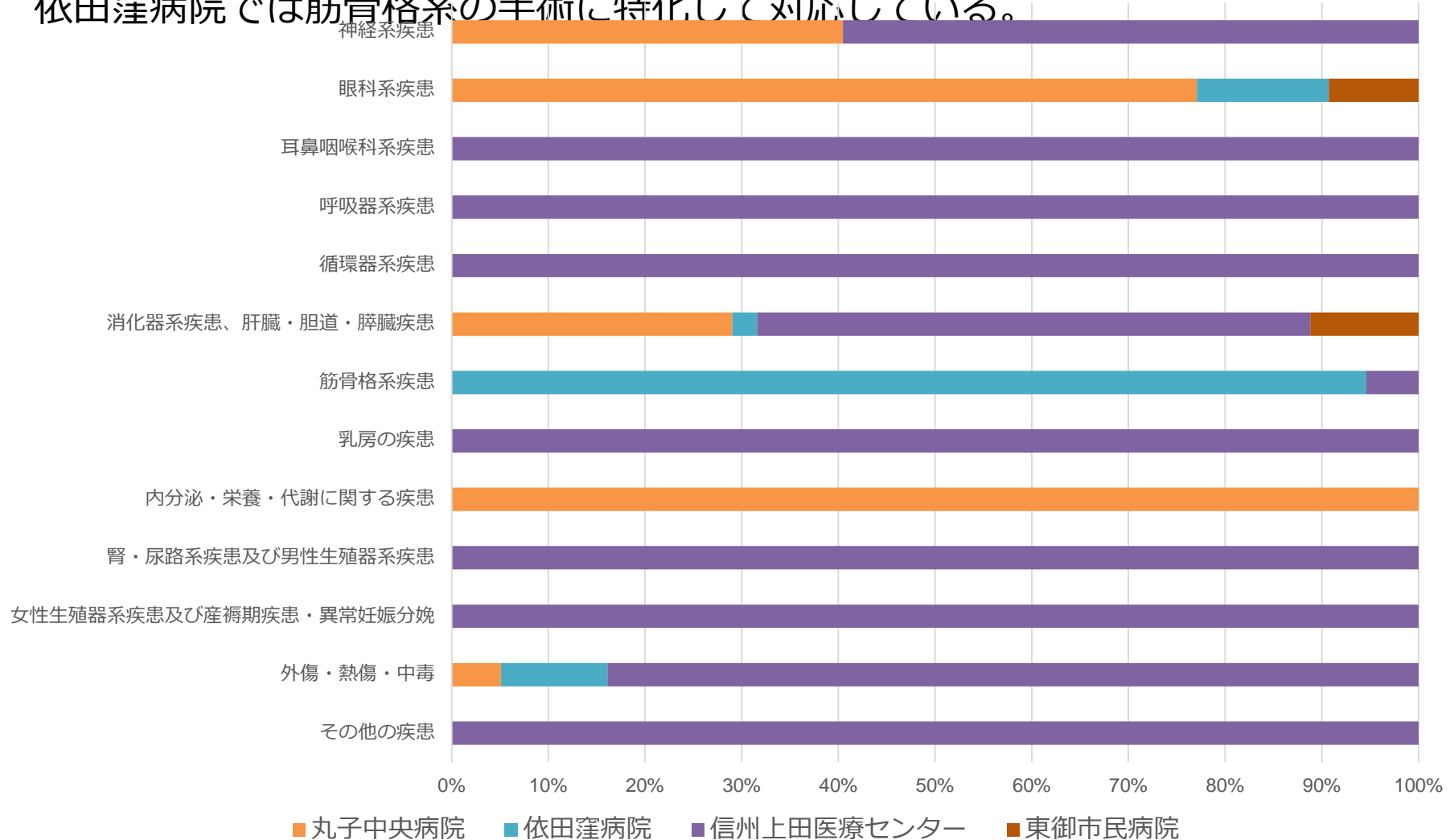
急性期医療の疾患(手術あり・手術なし)別シェア

- 圏域内のDPC病院における、平成28年の疾患別の構成比の状況をみると、複数の疾患で信州上田医療センターが主たる役割を有するしている。
- 筋骨格系の疾患は依田窪病院において対応しているほか、眼科疾患については、丸子中央病院が役割を担っている。



急性期医療の疾患（手術あり）別シェア

- 手術ありの疾患を見てみると、信州上田医療センターは循環器及び各部位の悪性腫瘍手術に対応、丸子中央病院では、白内障及び小腸大腸の良性腫瘍手術を行っている。
- 依田窪病院では筋骨格系の手術に特化して対応している。



(参考) 指標の算出方法

- 病床機能報告結果を活用し算出した指標の計算方法は以下のとおり。

【算出方法】

平均在院(棟)日数 $\text{延べ入院患者数} / ((\text{新規入院患者数} + \text{退院患者数}) / 2)$

病床利用率 : $\text{延べ入院患者数} / \text{診療日数} / \text{稼働病床数}$

在宅復帰率 : $(\text{家庭退院} + \text{施設退院}) / \text{退院患者数}$

救急医療入院率 : $\text{救急医療入院} / \text{新規入院患者数}$